Symbio Community Forum

News Letter
Vol.7　2011

吉川榮和　会長
東日本大震災、東電福島第一事故と国際ジャーナル
「原子力安全とシミュレーション」の発行

シンビオ社会研究会の会員情報

会員からの寄稿
顔 夢さんの日本研修を受け入れて

活動報告
―シンビオ国際カフェサロン２０１０
「 スーダン―遠くて遠い国」
―関東シンビオ・黄檗会の講演会と懇親会

会長挨拶

東日本大震災、東電福島第一事故と国際ジャーナル「原子力安全とシミュレーション」の発行

平成二十二年度に開始した当会の新事業である国際ジャーナル「原子力安全とシミュレーション」の刊行は、大須賀理事、吉田理事の編集協力を得て順調に号を重ねて二年目に入りました。この三月号の編集を進めている最中の平成二十三年三月十一日、日本の有史以来最大規模の東日本大震災が発生し、東北地方沿岸部は想定を上回る大津波に襲われました。このたびの東日本大震災でお亡くなりになった方々のご冥福をお祈りし、また、多数の被災者の方々に心よりお見舞い申し上げます。

この東日本大震災では、さらに東京電力福島第一原子力発電所の四つの原子炉で大事故が発生しました。事故発生後、発電所周辺の住民の方々が退避生活を余儀なくされています。現在はもう二ヶ月経過しているのに、いまだに四つの原子炉ともいずれも事故の収束ができない状態が続いています。

原子力規制の責に当たってきた人たちは、事故後、テレビインタビューで『九十年代前半、日本の原子力技術では、スリーマイル島事故やチェルノビル事故のようなシビアアクシデントを起こすことは考えられないが、念のために事業者の自主保安活動としてシビアアクシデント対策をすることを事業者に勧告した。』と語っていました。考えようによっては日本の技術への過信、事業者任せという無責任さが垣間見えました。一方、原子力学会誌の最近号に日本の原発はシビアアクシデントに備えた安全設計の点で、世界の最新動向から十五年は遅れを取っている、と指摘されていました。想定を越える津波時への備えがなく、その結果として原子炉災害まで付随する震災となり、その後は電力供給危機まで招いています。思うに日本では原子力安全に対する考え方が甘かった、遅れていた、ということでしょう。

当会の国際ジャーナル「原子力安全とシミュレーション」の編集発行では、今回の教訓を生かすため、事故の調査分析や解析シミュレーションを継続的に取り上げるようにしていきたいと考えています。

特定非営利活動法人　シンビオ社会研究会　会長　吉川　榮和

役員リスト

（任期：平成22年5月9日—平成24年5月8日）

役職名	氏　名	役　割
会長	吉川　榮和	総括・総務
副会長	杉万　俊夫	事業統括
理事	下田　宏	学術事業
理事	長松　隆	社会啓発事業
理事	伊藤　京子	社会啓発事業
理事	作田　博	学術事業
理事	松本　英治	国際連携事業
理事	久郷　明秀	社会啓発事業
理事	西川　佳秀	社会啓発事業
理事	五福　明夫	国際連携事業
理事	山本　倫也	学術事業
理事	手塚　哲央	国際連携事業
理事	吉田　民也	社会啓発事業
理事	中村　洋之	国際連携事業
理事	田中　俊彦	学術事業
理事	大須賀　安彦	国際連携事業
監事	永里　善彦	
監事	新田　隆司	

symbio

会員の種類

シンビオ社会研究会の会員には次の4種類があります。
１．正会員　２．登録会員　３．賛助会員　４．海外連絡会員
海外連絡会員は、理事会の推薦で会長が海外の個人に委嘱しています。

各会員の入会金、年会費とサービス内容は、下表の通りです。なお、海外連絡会員は、入会金、年会費は不要です。また、2007年度より次のようにしています。
●本会の行う活動行事等にご参加の方には、ご本人の同意を得て登録会員になってもらうようにしております（入会金、年会費不要）。登録会員から正会員への変更には入会金は不要です。
●正会員で2年間正会員費を滞納されると自動的に登録会員に変更します。

入会の方法

シンビオ社会研究会のホームページをご覧の上、ホームページより会員入会申込書をダウンロードして、左記のいずれかの方法で申込書をご送付下さい。
●郵送の場合
〒606-8202　京都市左京区田中大堰町４９
（財）応用科学研究所内
シンビオ社会研究会　事務局宛
●電子メール添付の場合
シンビオ社会研究会　事務局メール　symbio-office@nike.eonet.ne.jp

	正会員	登録会員	賛助会員
入会金	1000円	なし	なし
年会費	2000円	なし	50000円／1口
ニュースレター	郵送いたします	－	郵送いたします
講演会のメール案内	あり	あり	あり
協賛行事のメール案内	あり	あり	あり
セミナーの割引	あり	なし	あり
見学会の割引	あり	なし	あり
ホームページから活動報告の入手	あり	なし	あり
総会での議決権、役員選挙権、役員被選挙権	あり	なし	なし
ホームページでの賛助会員の明記及びリンク	－	－	あり
シンビオの各種プロジェクト活動の案内	あり	なし	あり。口数に応じた人数に参加いただけます。

顔 夢さんの日本研修を受け入れて

永里 善彦 さん（旭リサーチセンター）

顔 夢さんは中国 逝江省 寧波市にある英国ノッチンガム大学中国校・金融会計学科の学生である。ハルピン工程大学で特別招聘教授をしている吉川先生は、平成二十二年三月末に同僚の教授さんから、娘さんの夏季休暇中日本での企業研修先の世話を頼まれ、不景気の時節柄なかなか引き受け先がなくて困っておられた。先生の窮状をみて当社にてボランティア的にお世話を引き受けた。

顔 夢さんは吉川先生が引率して、八月二十八日ハルピンを出発し夜分に関空到着、当日は京都宿泊後二十九日新幹線で東京に到着。神田の学士会館に投宿した。三十日朝には学士会館近所の当社に吉川先生同道で来られて、それ以来当社による研修が開始された。そして九月八日寧波の大学の新学期開始のため帰国まで精力的に日本企業研修に励まれた。

研修先は、当社や旭化成グループの企業以外に、秋葉原電気街大型免税店、アサヒビール工場、東京証券取引所、三菱地所、東京電力、経団連経済広報センターなど多岐に渉った。最終日には研修レポートを作成してもらい 講評後、認定証を交付した。

顔 夢さんは研修レポートの中で日本の経済発展の文化的要因として、①規制の尊重、②新世代、③Ｗｉｎ－Ｗｉｎゲーム指向を挙げている。そして、とくに中国は『食の安全』向上に日本の取り組みをみならうべきと指摘している。

中国の将来を担う若い人材の啓発に今回の日本研修が役立っておれば大いに幸いである

研修にさきだって
（顔　夢さんは１８０センチ）

シンビオ国際カフェサロン2010
「スーダンー遠くて遠い国」

吉川 榮和 記

みんなで集合写真

アフリカのスーダンに度々出かけられる杉万理事が「皆さんに、日頃なじみの無いスーダンの方を紹介しましょう。」と企画されて、京都に滞在中のスーダンからのお二人を招いて十月十五日　応用科学研究所会議室で国際カフェサロンが開催されました。

まず、京大人間・環境学研究科に客員教員として京都滞在中のインティサー先生（スーダン・カルツーム大学芸術学部心理学科）は、ビデオによりスーダンの国歌や国の花、民族の顔の紹介から始まり、スーダンの部族分布、文化経済の南北格差について講演いただきました。次いで京都市内の法律事務所にご勤務の若手スーダン人弁護士で京大修士卒のハミッド・ハスブラブさんは、流暢な日本語で講演されました。「日本におけるイスラム教徒の墓地問題」と題する講演で日本在住のイスラム人が亡くなったときにイスラム教の教えに従って土葬することが如何に難しいかを、ご自分の日常活動のご経験からお話になりました。その後、近所の料理店にでかけ、エスニック料理で懇親会となりました。

かくて今年の国際カフェサロンは、民族衣装のスーダン人講師二名に、インドネシア人留学生二名も参加して例年の国際カフェサロンとは一風違った催しとなりました。

スーダンの民族衣装で講演

関東シンビオ・黄檗会の講演会と懇親会

中村　洋之　記

平成二十二年十一月二十六日、関東シンビオ・黄檗会の集いを宮澤龍雄先生、藤井有蔵氏、久郷明秀氏、筆者が幹事でお世話した。当日はまず京大東京オフィス（品川）で午後一時半より講演会を行った（参加者十八名）。まず早大アジア太平洋研究センターの澁谷祐氏は「海の地政学とアジア経済発展のアキレス腱」と題し、中東・湾岸産の石油、ガスはエネルギー不足の深刻なアジア経済を支える頼みの綱だがその依存率は七十％を大幅に超す。ホルムズ海峡からマラッカ海峡を経て南・東シナ海に至るシーレーンには、頻発する海賊・国際テロの襲撃、米中海軍の覇権拮抗、領海境界・大陸棚資源開発の問題未処理など海の地政学的リスクが益々顕在化している、と警鐘を鳴らした。

次いで東大工学系研究科の神里達博氏は、「リスクをめぐるフレーミング・アジェンダセッティング―「食」と「住」を題材に―」と題し最近営々と築かれてきた社会的信頼が崩壊する事件が多発している。ダイオキシンやアスベスト、新興感染症、鉄道事故、耐震偽装、消えた年金など「昭和の神話」が壊れていった。これらはいかなるプロセスを経て社会問題化したのか？そこでメディア、行政、大学は、どういう役割を果たしたか？「食」のリスクと「耐震偽装事件」を例に、日本社会の「リスクの議題化」に鋭いメスを当てられた。

その後、品川駅近傍のレストランFORTUNA に場所を変えて懇親会をおこなった。懇親会には、若林二郎先生ご夫妻も参加され、関東での黄檗会同窓会が盛り上がった。（参加者二十二名）

2010年度の主な活動実績

2010年	
4月30日	第1回理事会・通常総会・黄檗会との講演会
6月末	国際ジャーナルIJNS第1巻第2号
8月23-25日	ISSNP2010（中国・ハルピン工程大学）
9月末	国際ジャーナルIJNS第1巻第3号
10月15日	第2回理事会・国際カフェサロン 「スーダン一遠くて遠い国」
11月26日	関東シンビオ・黄檗会講演会（京大東京オフィス）
12月末	国際ジャーナルIJNS第1巻第4号
2011年	
1月21日	第3回理事会・ 技術交流会(スマートメータ＆国際会議報告)
3月4日	第4回理事会・ 「エネルギー環境問題の国際動向」講演会
3月末	国際ジャーナルIJNS第2巻第1号

2011年度の主な活動予定

2011年	
4月28日	第1回理事会・通常総会・シンビオ講演会
6月21日	研究談話会
6月末	国際ジャーナルIJNS第2巻第2号
8月21-25日	ICI2011(韓国、大田)
9月末	国際ジャーナルIJNS第2巻第3号
10月19日	第2回理事会・研究談話会
11月中	HI学会研究会
12月上旬	関東シンビオ・黄檗会（東京）
12月末	国際ジャーナルIJNS第2巻第4号
2012年	
1月下旬	第3回理事会・技術交流会
2月中旬	研究談話会
3月上旬	第4回理事会・ 「エネルギー環境問題の国際動向」講演会
3月末	国際ジャーナルIJNS第3巻第1号

発行　特定非営利活動法人　シンビオ社会研究会
〒606-8202
京都市左京区田中大堰町49
(財)応用科学研究所内
TEL/FAX: 075-204-1559
E-MAIL: symbio-office@nike.eonet.ne.jp
URL: http://sym-bio.jpn.org/